関小学校学校運営協議会だより No.6

令和２年３月６日

第６回関小学校学校運営協議会が開かれました

２月１９日に今年度最後の第６回学校運営協議会が開かれました。今回は
（１）人権教育の取組について
（２）学校評価について
（３）予算の執行について
（４）令和元年度学校経営方針の進捗状況及び成果と課題
について話し合われました。

会長のあいさつから

今回で本年度の学校運営協議会が終了します。第１回の学校運営協議会で亀山市教育委員会教育長から委嘱を受け、これまで児童が安心・安全で過ごせる学校づくり、保護者・地域に信頼される学校づくりを目指し活動してきました。委嘱を受けた委員の方は任期が２年ですので来年度も引き続きよろしくしくお願いいたします。

また、暖かくなったと思ったら、雪が降るという寒暖差の大きいのが今年の冬の特徴ですので、健康管理の指導を児童にもしていただきたい。今回はまとめの会になるので、たくさんの意見を頂戴したいと思います。よろしくしくお願いいたします。

校長のあいさつから

今日から１か月後は卒業式になります。６年生の教室にはカウントダウンカレンダーが貼ってあります。６年生は残り少ない時間の中で思い出をたくさん作って有終の美を飾ってくれることを望みます。

また、新型コロナウイルス感染症について毎日報道がなされています。風邪やインフルエンザ対策等と同様に、咳エチケットや手洗い・うがいについて児童に日々指導をしています。

国内では新型コロナウイルスを理由とした偏見や過剰反応等、心ない事案が発生しています。新型コロナウイルス感染症を理由としたいじめや偏見は、決して許されることではありません。

咳をしていたり、熱を出したりした人に対して、軽はずみな言動をせず、さらには偏見、差別につながらないように、先日も各学級で担任から児童へ指導を行いました。これからの情勢によっては、中国などから帰国した児童が今後増えていくことも考えられます。児童及びそのご家族に対し、感染症や帰国を理由とした偏見やいじめが生じないよう、学校では児童の人権に十分配慮した指導に努めてまいります。地域における情報があった場合は学校へすぐにお知らせください。

人権教育の取組について

関小学校では、学校教育目標を「じぶんで　なかまと　ふるさとから　夢豊かに学ぶ関っ子」とし、その実現に向けて、人権・同和教育目標を立てるとともに、人権教育推進計画に基づいて、人権教育を進めています。

人権・同和教育目標 「お互いのよさや違いを認め合い、共に伸びようとする関っ子の育成」 「思いを伝え合い、差別や偏見を見抜き、 差別をゆるさない態度と　つながり合う力をもった関っ子の育成」

人権教育の主な取り組みは以下の３つです。

- なかまづくりアンケート
  ６・１１月に同じ内容で実施し、クラスの友だち関係や、各子ども達の回答の移り変わりを教師が把握し、学級づくりにつなげます。
- 人権集会・全校での取り組み
  低・中・高学年で集まり、自分たちの身近な人権課題について話し合いを行います。
- 関中校区　学習会
  各学期に１回、関中・関小・加太小の教員が集まり、講師の先生を招いて講演を聞いたり、各校の取り組みや様子について交流したりします。

これらの様子について取り組みの写真やアンケート結果をパワーポイントにまとめ、担当者から発表を行いました。委員の方からは児童に対して行ったアンケート項目の中の「学校は楽しいですか」の問いについて、昨年度より大きく数値を伸ばした学年は、どのような取り組みが行われたのか、質問がありました。参加した教職員からは子ども同士をつなぐための手法を学ぶ日々の研修の成果があらわれたものであるという回答がなされました。

予算の執行と次年度へ向けて

亀山市教育委員会から学校運営協議会へ特色ある学校づくり推進事業の予算が委託され、事業を行ってきました。事業の概要は地域の「ひと・もの・こと」をキーワードにして、みんなでわかり意欲的に活動する子の育成を目指し、「地域人材、地域教材の活用『一人ひとりの学びの充実』」の２つを中心に、取り組みを実施しました。成果と課題は

- お互いの思いを出し認め合うことができる授業づくりが進んだ。
- 校外学習の場において、たくさんの地域の方々と交流することで、地域の一員である自覚と思いやりの気持ちをもつことが出来つつある。
- 温かい雰囲気の中で児童が学校生活を送ることができるように学習環境整備を行うことができた。

令和元年度学校経営方針の進捗状況及び成果と課題と合わせ、次年度へつなげていきます。